

東京湾再生官民連携フォーラムの主な活動状況について

(1) 東京湾再生官民連携フォーラムの概要

1) 登録会員数

フォーラム登録会員数（H31.2 現在）※【 】はH30.1からの増減
個人会員 307 名【10 名増】、団体会員 125 団体【11 団体増】

2) プロジェクトチームの設立（該当なし）

プロジェクトチームは昨年度からの改編・追加はない。

(2) 平成 30 年度の主な活動状況

1) 東京湾大感謝祭（2018）の開催状況

平成 30 年 10 月 18 日（木）、20 日（土）、21 日（日）に横浜赤レンガ倉庫・周辺海上において開催された。

オープニングセレモニーでは、東京湾再生アンバサダーの日本テレビ 榊太一アナウンサーが司会。

汽笛の一斉吹鳴、水上飛行機離着水、海の救助訓練、べいくりんデモ、京浜港ドックの見学会、釣り大会、江戸前フード販売、環境再生活動や技術、製品の展示など多数のイベントが実施された。10 万 5 千人が来場した（過去最高は 2016 年の 9 万 8 千人）。

2) PT@2019 未来クロス活動について

「PT 長会議」で議論されたテーマ、課題を改めて検討し、未来にむけてのプロジェクトチーム活動を見据えて、縦、横、斜に連携・クロスする意味を込めて、PT@2019 未来クロス活動として位置づけ、多様な連携をテーマに知恵を結集していく交流が図られた。（2019 年 2 月 14 日開催）

3) CSR-NPO 未来交流会、企業・行政等施設見学会

NPO、企業、組織団体それぞれの立場、単体だけでは解決できない課題や不足する部分について情報共有を図り、課題解決に向けて意見が交換できる機会として CSR-NPO 未来交流会を 7 月 19 日（27 団体参加）がフォーラム主催で行われた。

また、企業・行政等施設見学会を 8 月 24 日に開催した。「東京港における港湾施設計画と環境改善の取り組み」について、東京都港湾局の協力によりレクチャーが行われた。（台風の影響により「新東京丸」乗船による港内見学は中止）

(3) 新規の政策提案について

- ・「東京湾奥での海水浴復活」に関する政策提案（H30.11 提出）

平成 30 年 10 月 20 日のフォーラム総会において、東京湾での海水浴復活の方策検討 P T より政策提案の提出について承認され、平成 30 年 11 月 28 日にフォーラムから推進会議へ提出された。

「浜辺を管理する自治体（海水浴の許可の権限等を持っている自治体）は、顔付け禁止などの条件下で、期間限定的な海水浴を地元市民と協働して実施すること」について提案。